

超高齢社会を支える専門職 介護職の魅力と必要性を見直す

高齢化が進み、人口の約4分の1が65歳以上となった日本を支える介護職。内閣府の高齢社会白書(2012年版)によると高齢者人口は今後、2015年に3,395万人、2042年には3,878万人となると推計されており、介護サービスの必要性はますます高まっていくと考えられます。しかし、その仕事に対する理解不足から、介護職は未だに人材不足の状態が続いています。そこで今回は、YMCA学院老人ケア科の非常勤講師で在宅ヘルパー利用者でもある本田華代さん、同学科卒業生で介護福祉士の大平巖さん、学科長の吉田しのぶさんに、専門職である



写真左から
大平巖さん(医療法人社団 寿量会 通所リハビリテーションセンター 清雅苑 介護福祉士、熊本YMCA学院老人ケア科2008年卒業生)
本田華代さん(熊本YMCA学院非常勤講師、学校心理士、NPOともある会専門相談員、熊本県男女共同参画推進員)
吉田しのぶさん(熊本YMCA学院老人ケア科長)

「危険」な仕事だという「3K」のイメージが先行しているように感じます。確かに、排泄のお世話があったり、勤務時間が変則的であったりなど、他の職種にはない大変さがあるとは思いますが、しかし、その考え方はもう古いのではないのでしょうか。実際の離職理由で一番多いのは、同僚や利用者の方との人間関係だという統計があるそうです。そう考えると他の職種とあまり変わらないと思います。ですから私は、楽しい職場環境をつくることができるように、常に笑顔で働くことを心掛けています。私が恵まれている部分もあるのかもしれませんが、世間でイメージされているような、他の仕事と比べて特別つらい仕事であるとは思っていません。

本田 一番深刻な問題は人材不足だと思えます。大平さんの話を伺うと、事務所によって環境が違うようですが、多くの施設はギリギリの人数で運営しているのが現状です。高い志を持つ

大平 介護はグレーゾーンのことが多い職種だと、働きながら日々感じています。ズボンの上げ下げ、体を起こすといった動作一つをとっても、「これが正解」というマニュアルはなく、疾患や生活歴などの情報をしっかりと把握した上で、その人に合った介助の方法を模索し続けなければなりません。また、利用者の羞恥心への配慮などを含め、一人ひとりの気持ちに寄り添い、洞察力を高めて対応することも大切です。その日の利用者の体調や表情、声かけなどのア

介護福祉士の魅力を語り合っていたいただきました。 **介護職の現状を考える**

吉田 まず、介護職の現状について、現場で感じていることはありますか？
大平 社会的には、介護職は未だに「きつい」「汚い」「危険」な仕事だという「3K」のイメージが先行しているように感じます。確かに、排泄のお世話があったり、勤務時間が変則的であったりなど、他の職種にはない大変さがあるとは思いますが、しかし、その考え方はもう古いのではないのでしょうか。実際の離職理由で一番多いのは、同僚や利用者の方との人間関係だという統計があるそうです。そう考えると他の職種とあまり変わらないと思います。ですから私は、楽しい職場環境をつくることができるように、常に笑顔で働くことを心掛けています。私が恵まれている部分もあるのかもしれませんが、世間でイメージされているような、他の仕事と比べて特別つらい仕事であるとは思っていません。

本田 利用者である私が感じるのは、介護福祉士が現場で一番求められるのはコミュニケーション能力だということです。例えば、洗髪の際はシャンプーの量はその利用者にとって適量か、力の加減が強過ぎないかなど、小さな気配りを積み重ねることで介護福祉士と利用者との信頼関係が強くなっていきます。一方的にサービスを提供するのではなく、声かけというコミュニケーションで、お互いに思いやりや成長し合うことができます。相手の最も個人的な部分に入り込んでいく仕事は他にはありません。だからこそ難しい仕事であり、その難しさが介護の仕事に対するやりがいやプライドにもつながっていくのではないのでしょうか。(2面に続く)

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION YMCA KUMAMOTO NEWS February 2014 vol.501



たくさん子どもたちが参加したウインターキャンプ

- CONTENTS
- ① 介護職の魅力と必要性を見直す
- ② YMCAチャリティプログラム開催
- ③ YMCA学院海外研修/YMCA学院日本語科お正月文化体験 アガペNo.95「美しく老いるということ」 REPORT 高等学校・PHD協会交流会/YMCA学院児童福祉教育科卒業発表会
- ④ Life 第66回 医療法人ソレイユひまわり在宅クリニック理事長 院長 後藤慶次さん① Topics 阿蘇YMCA/東部YMCA/ながみねファミリー-YMCA
- 中面 Y Kidsニュース みんなのキャラクターティバロップメント

わたしと聖句
詩篇143篇5節
わたしはいにしえの日々を思い起こし、あなたのなさったことをひとつひとつ思い返し、御手の業を思いめぐらします。

あなたが変わってしまったとき
パソコンが固まってしまった経験はありませんか。たくさん仕事を処理しようとして動かなくなることを、パソコンが固まったと表現します。人間も忙しすぎたり、大きなプレッシャーがあったりすると固まることになりまし。仕事も溜まり、ストレスもあり、私自身が固まってしまったのです。思うように動くことが出来ず、無理すれば激痛に悩まされる体を受け入れることが出来ず、イライラが募りました。しかし私は神様が造られた限界がある存在だということを受け入れる必要がありました。

見に心穏やかにされるように、家族の大切さ、平素な日々の恵みが改めて身に沁みるようになるのです。
今回、検査のためにMRIを初めて経験しました。痛みと大きな音と閉塞感。私は私にとって大きな苦痛でした。そのことを妻に話すと、「〇〇さんも、〇〇さんも同じ検査をしたんだよね」と言われてハッとさせられたのです。私は相手の痛みを十分に共感出来ずにうわべだけのことを発していたことに気づかされました。静かに考える時間には貴重な発見があるのです。
熊本ハーベストチャーチ 中村 陽志

一人ひとりが輝き続けるために

吉田 介護の仕事について、もっと広く周知してもらうためには、どのような取組みが必要でしょうか？

本田 人材不足である現状を介護従事者、利用者、利用者家族らが共に伝えていくことが必要だと思います。事業所や福祉業界レベルではなく、国レベルで、介護に携わるすべての人がより安心して働くことができる環境整備が優先です。それは、利用者が安心して利用できることにもつながります。介護福祉士は国家資格であり専門職であるというプライドを持ち、社会の正しい評価、認知への取組みを行うことも必要だと思います。

大平 横の連携と外部とのつながりを持つことが大切だと思います。私は自分のスキルアップ、コミュニケーションづくりのために熊本県介護福祉士会の研修会やグループワークなどに参加しています。そこで得た情報や知識は次のステップに進むための大きな糧となります。また、国が介護職のキャリアパス制度を導入するなど、介護職の労働環境改善に目が向けられています。現場から労働環境を改善しよう、声を上げていくことも大事だと思っています。

吉田 これから介護職に携わろうと考えている人へのアドバイスをお願いします。

大平 仕事で、たとえ嫌なことを言われたとしても、他の利用者や接する時は気持ちを切換えなくてはなりません。また、自らの失敗が利用者の命に関わるというプレッシャーもあります。いろいろなストレスを感じる職種でもあるので、気持ちのオンとオフを上手に

切り替えるテクニックも必要です。また、変化のサイクルが早い時代に対応する柔軟さと、知識をどん欲に吸収していく意欲も求められます。勉強して知識を身に付けることで、経験だけに頼らない対応が可能となります。それが自信につながり、仕事に対するプライドにもつながっていくと思います。

私はYMCA学院で学んだことで得られた横の連携を大切にしています。学院は、悩んで誰かに相談したい時、帰ることができる場所の一つです。今後も、働かせていただいている職場はもちろん、学校、介護福祉士会とのつながりを大切にしていきたいです。

介護福祉士という仕事は、利用者である人生の先輩方と、とても近い関係で接することで、様々なことを学ばせていただながら人間的に成長できる崇高な仕事だと思っています。大変なこともあります。日々新しい発見もあり、楽しいこともたくさんあります。是非、多くの人に介護福祉士の扉を開いてもらいたいと思っています。

本田 コミュニケーション能力の向上を目指してほしいと思います。また、介護福祉士会などの機関を知り、お互いの職場環境や技術などについて情報交換する場所も積極的に持つことをお勧めします。介護職は決してやさしい仕事ではありませんが、人に必要とされ、自分自身もキラキラと輝けるカッコイイ仕事です。介護職のやりがいや魅力を知る、カッコイイ介護福祉士が増えることで、社会のイメージも変わっていくと期待しています。原石となる介護福祉士が一人でも多く輝き続けられる仕事になってほしいと思います。

吉田 本日はありがとうございました。

各YMCAでチャリティプログラムを実施

国際協力青少年育成成年末募金の一環として、1月19日(日)に中央、みなみ、むさしの各YMCAで、チャリティプログラムが開催されました。バザーや様々な体験プログラムが多くの子どもや地域の人たちでにぎわいました。ながみねファミリーYMCAではチャリティウィークとして18日(土)〜25日(土)の1週間に行われ、ガレージセールやくじ引きなどを実施しました。また、YMCA学院高等学校では昨年末にチャリティ餅つきを実施。YMCA学院ではオリジナルタオルの制作・販売の取組みも行われました。



中央YMCA

親子でレクリエーションゲームやトランポリンを楽しみ、からしレンコン作りに挑戦しました。NHK熊本放送局のキャラクター“からしれんこんどーもくん”も登場。子どもたちに大人気でした。



ながみねファミリー YMCA

初日は土曜日ということもあって、食バザーやくじ引きに長蛇の列ができるほど大にぎわいでした。買って、食べて、遊んで、楽しんでチャリティに取り組んだ1週間となりました。



みなみYMCA

フェイスペインター Miwaさんの手により、参加した子どもが大変身。くまもと温暖化対策センターの協力で実施した自転車発電でたがし作りは行列ができるほどの人気でした。



YMCA学院

学生委員会が中心となって作成したオリジナルデザインのタオルを販売中。在庫は残りわずかです。(写真は右から委員長で国際ホテル科2年生の野口健太さんと副委員長で生涯スポーツ科1年生の佐伯亮さん)



YMCA学院高等学校

3年目の今回は、卒業生やウインタープログラムに参加していた子どもたちも参加し、にぎやかな餅つきとなりました。つきたてのお餅のほか、赤飯も販売。どちらも完売することができました。



むさしYMCA

親子ネイル教室では、ネイルの基本的な塗り方から学び、参加者は真剣な眼差しで女子力を磨きました。また、親子サッカーでは、おうちの人と一緒に楽しくサッカーができました。

アガペ No.95

総主事 堤 弘雄

美しく老いるということ

人類の歴史上、変わらない法則があります。それは、「人は必ず老いる」ということ、そして「人はいつか死ぬ」ということです。この避けられない人間の宿命を私たちはどのように受け入れていけばよいのでしょうか。

ドイツ人宣教師で、哲学者、教育者、作家、劇作家でもある、ヘルマン・ホイヴェルス氏は「人生の秋に」という随想集の中にこのような詩を書いています。

楽しい心で年をとり、働きたいけれども休み、しゃべりたいけれども黙り、失望しそうな時に希望し、従順に平静に、おのれの十字架を担う。若者が元気一杯で歩むのを見ても、ねたまず、人のために働くよりも、謙虚に人の世話になり、弱って、もはや人のために役立たずとも、親切で柔和であること。老いの重荷は、神の賜物。古びた心にこれで最後の磨きをかける。

誠の故郷に行くために己をこの世につなぐ鎖を少しずつ外してゆくのはまことにありがたい仕事。こうして、何もできなくなればそれを謙虚に承諾するのだ。神は最後に、一番よい仕事を残してくださる。それは祈りだ。手は何も出来ないけれども最後まで合掌できる。愛するすべての人の上に神の恵みを求めるために。すべてを成し終えたら臨終の床に、神の声を聞くだろう『来たれ我が友よ。我汝を見捨てじ。』と。

これは、高齢者だけでなく若い人にも必要な心の持ち方だと思います。老いも若きも、神にいのちを与えられたことに感謝しながら毎日を大切に過ごしたいものです。

「アガペ “あなたのたましいが輝く92のメッセージ”」として1冊の本になりました。税込み1,000円です。お近くのYMCAの窓口でお求めください。



老人ケア科 アメリカ西海岸
12月5日(木)～13日(金)
福祉の学びのみならず、自己の価値観を変える研修となりました。(写真は障がい者施設ジャネットポメロイセンターでの交流)



生涯スポーツ科 ハワイホノルル
12月5日(木)～11日(水)
ホノルルマラソンにチャレンジ。見事全員完走することができました。感動的なゴールでした。



国際ホテル科 ハワイホノルル
12月12日(木)～17日(火)
世界的なリゾート地、ホノルルを訪問。観光地やリゾートホテルの魅力を体験しました。



建築科 スペイン・フランス
12月13日(金)～20日(金)
パリ・バルセロナの様々な年代の建築を見学し、異文化理解を深めることができました。

Y M C A 学院海外研修

Y M C A 学院は、異なる文化や価値観に触れ、グローバルな視点やコミュニケーション能力を身につけることを目的に海外研修を実施しています。2013年12月は、建築科がスペインとフランス、国際ホテル科と生涯スポーツ科がハワイホノルル、老人ケア科がアメリカのロサンゼルスとサンフランシスコを訪問しました。

日本のお正月文化を体験

1月7日(火)、東部Y M C A にて、Y M C A 学院日本語科に通う留学生と日本人学生の友好を深めようと、日本のお正月体験会が開かれました。中国、韓国、台湾、ネパール、インドネシア、ベトナム、アメリカの7カ国からの留学生54名と、Y M C A 学院建築科の学生28名が3グループに分かれ、書初め、かるた、餅つきなどを体験しました。

書初めでは、手本から「初春」「光」「平和」など好きな言葉を選んで模写。「夢」を選んだネパールからの留学生バドリ・サブコタさんは「日本で運転免許を取得して、日本中を旅したい」と話しました。かるたは8チームに分かれ、1チームにつき4試合の対戦。読み



手の声に耳を澄ませて、身を乗りだし、教室内は熱気に包まれました。「初めて餅をついた」という建築デザイナーを目指す中国人留学生の張佳さんは、餅の料理方法など日中の食文化の違いにも興味を示しました。

参加者全員が屋外に移動した後、ちよんかけごま保存会の指導員5名によるデモンストラーションを見学。青空に舞うごまに拍手をし、熊本の伝統文化を和気あいあいと体験しました。最後に、つきたての餅で作ったお雑煮を食べ、日本のお正月の味を堪能しました。様々な活動を体験して国籍の異なる学生が友好を深めました。

REPORT

アジアの研修生と高校生が交流

日時/1月16日(木)10時半～11時半
会場/中央Y M C A ジェーンズホール
平和(Peace)と健康(Health)を担う人材育成(Human Development)に取り組むPHD協会から3名の海外研修生(ミャンマー、ネパール、インドネシア出身)とスタッフが熊本Y M C A を訪問し、Y M C A 学院高等学校の生徒と交流しました。



研修生は出身国の生活の様子や抱えている問題、研修で学んだ保健衛生や有機農業などについて発表しました。3人に共通していたことは「助け合い」。研修で得た知識を村の発展のために活かしたいと意気込む反面、発展し、便利になるほど助け合い精神が薄れるのではないかと感じているようです。
ICR 佐藤万由美

児童福祉教育科が卒業発表会を開催

Y M C A 学院児童福祉教育科15期生の発表会を、1月21日(火)に阿蘇Y M C A、26日(日)に子ども文化会館で開催しました。保育者を目指す学生たちが、3年間の学びの集大成として創作劇、ダンス、合唱を披露。約1年を掛けて全員で話し合い、思いを伝えあいながら準備や練習を重ねてきました。今年のテーマは「笑顔」。発表会に来てくれた阿蘇の保育園児や地域の人々にたくさんの笑顔を届けることができました。



Y M C A 学院
加藤泰文

Life

第66回

「いのち」「生活」「いきがい」をテーマにしたメッセージ。



医療法人ソレイユ
ひまわり在宅クリニック
理事長 院長
後藤 慶次さん ①

患者にとっての幸せとは何かを 家族が皆で考え、支えることが大切です

在宅医療は、通院が困難な方の自宅へ医師や看護師が定期的に訪問して、診察や処方をする医療です。「ひまわり在宅クリニック」は、在宅医療を主とする診療所として5年前に設立しました。病気が障がいがある方、高齢者、自宅で最期を過ごしたいと思われている末期がんや神経難病の方々の希望に応えるためです。「ひまわり」の名には、患者を太陽と考え、常に太陽に花を向けるひまわりのように私たちがサポートしたいという願いを込めました。家族やケアマネージャー、ヘルパーなど、多くの方と情報交換を行い、病気による痛みやつらさなどの症状を和らげながら、その人自身がその人らしく自宅で生活できるように支えることを目的としています。

私のクリニックでの訪問診療、看護を新しく希望される人は年間100名ほど。最近、私のクリニックへ相談に来られる方が増え、在宅医療の必要性を実感しています。在宅医療を希望される家族の分だけ、同様の医療を提供する施設が増えていくことを願っています。今後は、総合診療医が様々な病気を診ながら行う緩和ケアが必要になっていくでしょう。そこで一番大切なのは、その人にとっての幸せとは何かを、皆が考えていくことにあります。(つづく)

お年玉付年賀はがき切手シートでボランティア

熊本ワイズメンズクラブでは、お年玉付年賀はがきで当選した記念切手シートを集めています。切手シートは換金し、視覚障がい児プログラムのポニーキャンプなど社会福祉事業の活動資金に充てられます。もしお手元に届いた年賀はがきで切手シートが当選してありましたら、最寄りの郵便局で切手シートに交換していただきご寄贈ください。

お問合せ/熊本ワイズメンズクラブ(担当福山) TEL 096-353-6391

YMCA会員交流プログラム ファミリーデイキャンプ

YMCAに集う様々な仲間と出会い、交流の輪を広げませんか。飯ごう炊飯体験や赤牛の丸焼き、ピザ作り、ハイキングなど、家族で楽しめるプログラムで交流の時間を過ごしましょう。



日時:2014年3月21日(金・祝)
現地集合・解散の方 10:00集合
送迎バス利用の方 中央YMCA8:30集合
場所:阿蘇YMCA
対象:YMCA会員とご家族
参加費:大人1,000円、学生・子ども500円
(バス利用の場合、別途一人500円・温泉代別途)

お問合せ/熊本YMCA ICR TEL 096-353-6397 FAX 096-324-7877
E-mail icr@kumamoto-ymca.org

TOPICS 地域YMCAにまつわる人・モノ・場所などを順番にご紹介します。

阿蘇に集う家族

阿蘇



今年度も大晦日から元日にかけて「あそカウントダウンキャンプ」を開催しました。毎年参加する家族や、初めて参加する家族の皆さんと一緒に新年を迎えました。

元日には恒例の餅つき、書初め、初挑戦の豚肉の燻製やスナックパン、バター作りなど、多くのプログラムを楽しみました。

大自然に囲まれた阿蘇YMCAは、子どもたちはもちろん、大人の皆さんも成長できる場所です。キャンプや研修、宿泊などで、ぜひ阿蘇YMCAにお越しください。

阿蘇YMCA 宮本知也

救急救命法講習

東 部



1月14日(火)日本語科上級2クラスの学生が、「救急救命法講習」を受講しました。

今年は、消防署での受講でしたが3時間の講習中、6回も火事や事故の通報が入るとい緊張感の中での学びの時間となりました。皆、受講証をもらって、誇らしげでした。

参加した学生は「人の命に関わる実践的な講習を学べて、本当に良かったです。これからは、そういう場に居合わせたら、少しは冷静に対応できると思います」と感想を語ってくれました。年2回実施している避難訓練と併せて、緊急時に備えたいと思います。
東部YMCA 本田節子

YMCA出身Jリーガー

ながみね

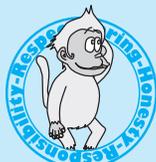


サッカーチーム合宿に、熊本YMCA出身Jリーガーの藤本康太さんが来てくれました。小学1年から中学までYMCAに、そして国府高校を経てセレッソ大阪で選手として頑張っています。U-23日本代表の経験もあり、セレッソ大阪でもキャプテンを務めるなど活躍中です。一緒にサッカーをしたり、サインをしてもらうなど、子どもたちにとって、大きな励みとなりました。「夢や目標をはっきりと持って、それに向けてすべきことをしっかり頑張ってください」とメッセージをいただきました。

ながみねファミリー YMCA 中村賢次郎

Kumamoto YMCA Network

中央YMCA	☎096-353-6391	水前寺幼稚園	☎096-362-4141
YMCA学院	☎096-353-6393	阿蘇YMCA	☎0967-35-0124
YMCA学院高等学校	☎096-353-6391	赤水保育園	☎0967-35-0024
本部事務局・ICR	☎096-353-6397	尾ヶ石保育園	☎0967-32-0213
みなみYMCA	☎096-378-9370	永草保育園	☎0967-32-0810
上通YMCA	☎096-352-2344	黒川保育園	☎0967-34-0402
東部YMCA	☎096-382-6661	リフレスおおむた	☎0944-58-7777
ながみねファミリーYMCA	☎096-385-0676	就労継続支援	☎096-312-1333
むさしYMCA	☎096-248-6334	A型事業所WELL-B	



思いやり 誠実さ 責任感 尊敬心 キャラクター・ディベロップメント推進中

YMCA学院では学生委員会と募金委員会の協働で国際協力青少年育成年未募金に取り組みました。「100円で何が出来るか？」を調べ、各クラスで目標金額を設定し様々な工夫をしました。葉祥明さんの絵本の活用、オリジナルのポスターや募金箱(写真)作り、ブログでの募金活動紹介、街頭募金への参加をしました。

これらの活動を通して「できることを自ら行動」という、学生たちの頼もしい姿を見ることができました。(中央学院 合志啓恵)



【基本聖句】喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマの信徒への手紙12章15節)

熊本YMCAの使命

共に生きる社会
ウェルネス活動

地球環境の保全
ボランティア活動

生涯学習の推進
平和な世界

■ホームページ www.kumamoto-ymca.or.jp

■メールマガジン登録
www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi



YMCAで成長する子どもたち

YMCAのスポーツスクール、こどもえいごスクールに通う子どもたちの保護者の方から、メッセージをお寄せいただきました。



むさしYMCA サッカー教室元在籍生の保護者より

うちの子どもは年長から小学6年生のときまで、YMCAのサッカー教室に通っていました。幼いころは引っ込み思案で、いつも他の人の後ろからついていくタイプの子でした。当時、リーダーから「困っている人のための街頭募金があるからおいで」と言われ、子どもが「行ってみたい」と言い出しました。「本当に大丈夫かな？」と思いながらも連れて行くと、大きいお兄ちゃんやお姉ちゃんが多く、尻込みしながら、リーダーから手渡された募金箱を持って、一緒に並んでいました。

「募金お願いします」本人にとっては大きな声のつもりなのですが、他の元気な子に押され気味。それでもがんばっている姿に拍手を送りくなりました。そして、あるおばあちゃんが募金してくれ、手をさすって応援してくれたときの、我が子の満面の笑顔と「ありがとうございます」の大きな声。思わず涙があふれそうになりました。

募金は「困っている人のために」ということももちろんですが、子どもにとっても大きな経験となりました。



みなみYMCA こどもえいごスクール在籍生の保護者より

小学6年生の娘は、3歳の時から体操に、小学1年生からこどもえいごスクールに通っています。

もともと何にでも興味がある子でしたが、YMCAに通うようになってから、辛いことにも明るく前向きに、途中で投げ出すことなくがんばっています。英語も長く続いていて、今年度は小学生尚 綱英語暗唱大会にもチャレンジしました。部活・英語・体操と、とても忙しい時期でしたが、YMCAの先生に遅くまで練習を指導していただく中で、本人も責任感がわいたようで、練習用で作ったCDを空き時間に聞くなどして本番に向けてがんばりました。弱音もはかず、英語に向き合っていたと思います。

入賞はできなかったけれど、大勢の人の前で、たった1人でステージの上に立って、長い英語のスピーチを発表している姿を見て、我が子ながら感動しました。YMCAからは英語を通して様々なよい機会を与えてもらって感謝しています。

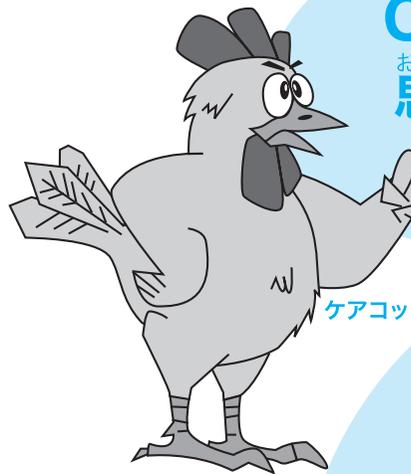


精神・知性・身体のバランスのとれた成長を願って

Caring

思いやり

やさしくする



ケアココロ

Responsibility

責任感

できることは
自分でする



ウィリーベアー

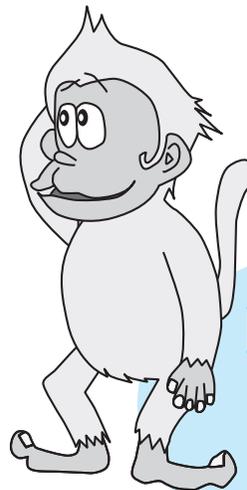
キャラクター ディベロップメントが めざすもの

YMCAでは子どもたちに語学やスポーツなどすべてのプログラムを通して
思いやり、誠実さ、責任感、尊敬心などの
人格形成に大切な価値観を伝えています

Respect

尊敬心

人を大切におもう

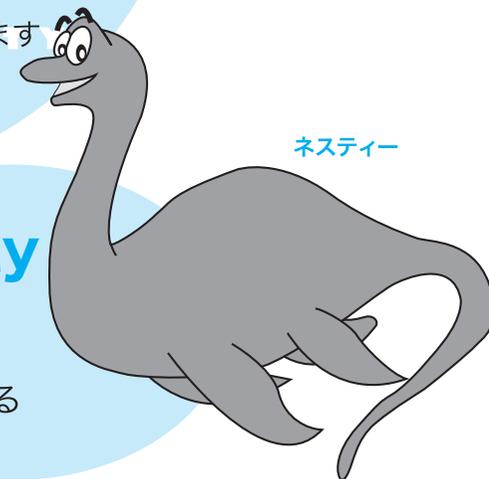


ゴールデン
モンキー

Honesty

誠実さ

正直になる



ネスティー

2014年度こどもプログラム一覧表は
ホームページ(PDFファイル)で
ご覧いただけます。

<http://www.kumamoto-ymca.or.jp/portal/8553.html>

スマートフォン・携帯電話ご利用の方はQRコードから



スポーツプログラム・こどもえいご
特別無料体験会

3/9(日)・4/3(木)・4(金)・5(土)

実施プログラム・日程は、YMCAで異なります。
詳細はお問い合わせください。

YMCAでは活動をとおして次のことを学びます。

「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」「家族、地域のひとりとして責任があること」
「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
「すこやかな心とからだを育むこと」

たるき あやの
樽木 絢乃さん(小学5年生) 左
たるき みこと
樽木 美琴さん(小学2年生) 右
みなみYMCA 水泳教室



Honesty
せいじつ
誠実さ

難しい内容も
積極的に
取り組む



かたやま しょうがく ねんせい とし
片山くんは、小学3年生の時からYMCAのこどもえいごスクールに通い、現在 Phoenix という一番上級のクラスに在籍しています。英会話に取り組む姿勢は、「誠実」そのもの。難しい内容でも、知っている単語や文法を使って積極的に話し、分からないことは素直に質問します。他の人の意見を耳を傾ける姿勢も立派です。片山くんが、英語というツールと高いコミュニケーション能力を活かし、グローバルな社会で活躍する日はもうすぐそこです。応援しています！
麻生由紀先生より

あやの みこと まいしゅう たの すいえい さん
絢乃さんと美琴さんは毎週とても楽しそうに水泳に参加しています。絢乃さんは、分からないことがあったらしっかりリーダーに相談し、解決できるように努力をしています。美琴さんは、リーダーからのアドバイスをいつも素直に聞いて、上達を目指して練習に取り組んでいます。11月の水上フェスティバルでは、日頃の練習の成果を発表することができました。いつも真面目に、そして誠実な姿勢で参加する2人の姿を、リーダーたちはとてもうれしく思っています。
にんじんリーダー(竹下貴文)・バスケットリーダー(畑瀬樹里)より

かたやま りく
片山 陸くん
(中学2年生)
むさしYMCA
こどもえいご

てらしま はると
寺嶋 悠人くん
(小学5年生)
ちゅうおう
中央YMCA
こどもえいご



Responsibility
せき にんかん
責任感

はな だ げん き
花田 原輝くん(小学3年生) 左
ひ だか たく み
日高 拓海くん(小学3年生) 中
ふく だ はる き
福田 陽生くん(小学3年生) 右
ながみねファミリー YMCA
サッカー教室



はると ざいせき
悠人くんは、在籍しているFalconsクラスのキャラクターディベロップメント目標である「Learn English to know more about the world. Try to give one's own opinion in English. 視野を世界に広げ、英語で自分の意見を言う」につなげるため、9月に小学生 尚 網英語暗唱大会にチャレンジしてくれました。家族旅行の車内でも英文の暗記をするほどの熱心さで、何事にも自分で決めたと責任を持って取り組む悠人くんの姿勢の表れだと思います。 李英先生より



にん さん せき おお こと げん れん
3人は、いつもリーダーより先に大きな声であいさつして、練習の時は、グループのメンバーの輪の中心で体操をしてくれています。花田くんは練習のルールの説明の時には進んで見本となり、日高くんは鬼ごっこなどで鬼の役がいない時は「僕がするよ」と引き受けてくれます。福田くんは練習の前と後の全体での号令を誰よりも大きな声でかけてくれます。練習後は、3人もリーダーが頼む前に自分でやることを探してゴールの移動や道具の片付けをし、グラウンドの整備も手伝ってくれます。今後も、サッカーを通して成長してくれることを願っています。
キリンリーダー(大中翔二)より

リーダーや先生が紹介します！
みんなのキャラクターディベロップメント

つみ かなえ
堤 加奈枝さん
(小学2年生)
ながみねファミリーYMCA
こどもえいご



Caring
おも
思いやり

もり た え こ
森田 瑛心さん
(年長)
ちゅうおう
中央YMCA
たいそうきょうしつ
体操教室



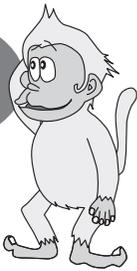
かなえ こんねん ど
加奈枝さんは、今年度からYMCAのえいごスクールに通っています。とても素直で優しい心の持ち主です。クラスメイトが困っていたり、辛そうにしている時は、優しく声をかけてくれます。ながみねファミリーYMCAのこどもえいごクラスでは一人ひとり年間がんばって取り組む目標を立てます。加奈枝さんの今年度の目標は、「ここがやすらか、だれにでもやさしくできるようになる」です。正に有言実行!!同じクラスのお友達にも優しさが伝わって、とても温かいクラスになっています。
李英先生・桜井由起子先生より

えこ けいせい
瑛心さんは、みんなの優しいお姉さんの存在。クラスはじめの集まりのときに、年下のお友だちに優しく手を差し伸べ、手をつないでくれます。手をつないでもらったお友だちは、とてもうれしそう、その様子を見てリーダーまでうれしい気持ちになります。初めて体操フェスティバルに参加した時に、緊張していた瑛心さんを小学生のお姉さんがそばで見守ってくれていたことがありました。その時に感じた「思いやり」が、今度は瑛心さんから年下のお友だちに伝えられているようです。これからも心優しい女の子に育ててほしいと思います。
チェリーリーダー(平本沙音娘)より



たさき せな
田崎 世菜さん
(小学2年生)
みなみYMCA
こどもえいご

Respect
そん けいしん
尊敬心



きよ た ね お
清田 音緒さん(小学5年生) 左
きのした こと ね
木下 琴音さん(小学4年生) 右
むさしYMCA 新体操教室



せな せいせい
世菜さんは、とても礼儀正しく、いつも可愛い笑顔であいさつをしてくれます。クラスでは、お友だちに進んで声をかけたり、困っている時は手助けをして、先生のお手伝いも率先してしてくれます。また、英語に対して一生懸命で、先生の話をもいつも真剣に聞き、宿題も忘れずにがんばっています。いつも尊敬心を持って周りの人に接している世菜さんに感心させられます。YMCAでさらに英語と内面の両方を磨いて、世界にはばたいていってほしいと思います。
川越ゆかり先生より

ね お こと ね
音緒さんと琴音さんは、クラスの中で新体操の経験年数が長く、お手本として低学年のみんなを引っ張っていただけています。現在、3月の新体操フェスティバルに向けて、同じグループで演技の練習をしています。2人ともお互いに尊敬心を持ち、相手に気を配りながら練習に取り組んでいます。その成果が演技の上達につながっています。これからも、お友だちを大切にすることを大切にしながら練習を続けて、クラスみんなが楽しくレベルアップできるように、お手本となってほしいと思います。
コマルリーダー(丸内陽子)より

